

『第202回 営業地区内の景気動向調査』

1. 調査内容	2025年 10～12月期の実績 2026年 1～3月期の予想		
2. 調査対象	当金庫営業地域内の企業	合計	104社
(業種別内訳)	製造業 27社	卸売業 8社	
	小売業 25社	サービス業 11社	
	建設業 21社	不動産業 12社	
3. 調査担当	道南うみ街信用金庫 営業店支援グループ		

☆ 目次 ☆

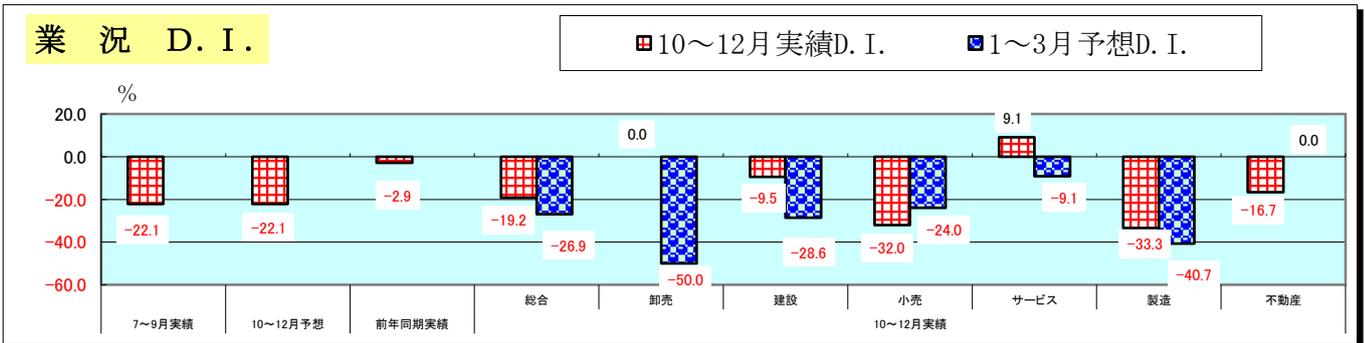
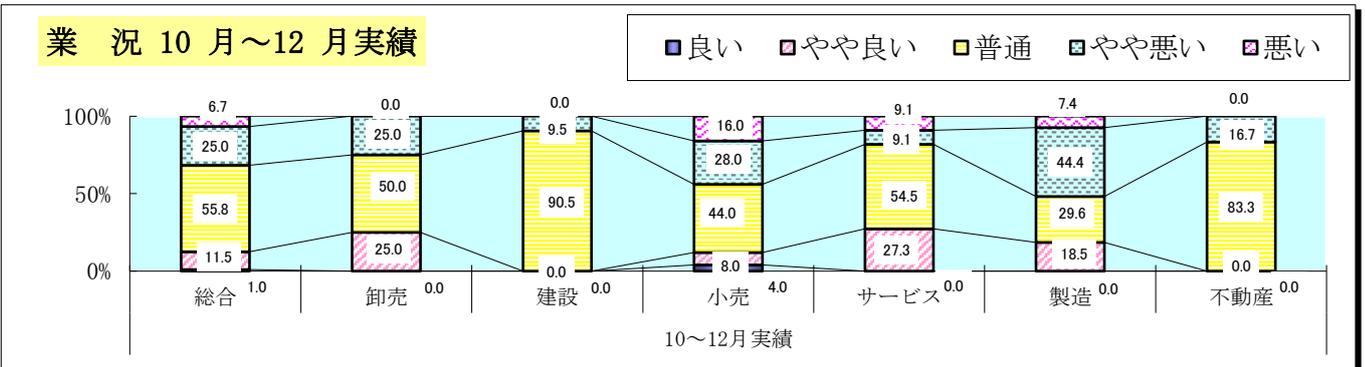
1 概況	P. 1
2(1) 前期に比べた売上額の動き	P. 2
2(2) 前期に比べた受注残高・施工高の動き	P. 3
2(3) 前期に比べた収益の動き	P. 4
2(4) 前期に比べた販売価格（料金価格・請負価格）の動き	P. 5
2(5) 前期に比べた仕入価格（原材料価格）の動き	P. 6
2(6) 前期に比べた在庫の動き	P. 7
2(7) 前期に比べた資金繰りの動き	P. 8
3(1) 前年同期に比べた売上の動き	P. 9
3(2) 前年同期に比べた収益の動き	P. 10
3(3) 前年同期に比べた販売価格の動き	P. 11
4(1) 前期に比べた残業時間の動き	P. 12
4(2) 人手の動き	P. 13
5 借入金の動き及び借入難易度	P. 14
6(1) 設備投資の動き	P. 15
6(2) 設備投資の実施と予定状況	P. 16
経営上の問題点	P. 17
当面の重点経営施策	P. 18
特別調査 …不透明感が増す経済社会情勢と中小企業	P. 19～P. 20

※ 計数等については、四捨五入しておりますので、一部合計欄と一致しない場合がございます。



1. 概 況

概 況		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	10~12月実績D. I.	1~3月予想D. I.
7~9月実績							-22.1	
10~12月予想							-22.1	
前年同期実績							-2.9	
10~12月実績	総合	1.0	11.5	55.8	25.0	6.7	-19.2	-26.9
	卸売	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	-50.0
	建設	0.0	0.0	90.5	9.5	0.0	-9.5	-28.6
	小売	4.0	8.0	44.0	28.0	16.0	-32.0	-24.0
	サービス	0.0	27.3	54.5	9.1	9.1	9.1	-9.1
	製造	0.0	18.5	29.6	44.4	7.4	-33.3	-40.7
不動産	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	-16.7	0.0	



○ [当金庫の取引先からみた中小企業の景況]

’25年10~12月期(今期)の業況判断D. I. は Δ 19.2で、’25年7~9月期D. I. Δ 22.1と比べ2.9ポイント良化、前期調査における今期の予想D. I. Δ 22.1に対しても2.9ポイント良化、前年同期比では Δ 2.9から建設業、小売業が大きく変化し総合で16.3ポイント悪化しました。次期予想D. I. については Δ 7.7ポイント悪化の予想となりました。

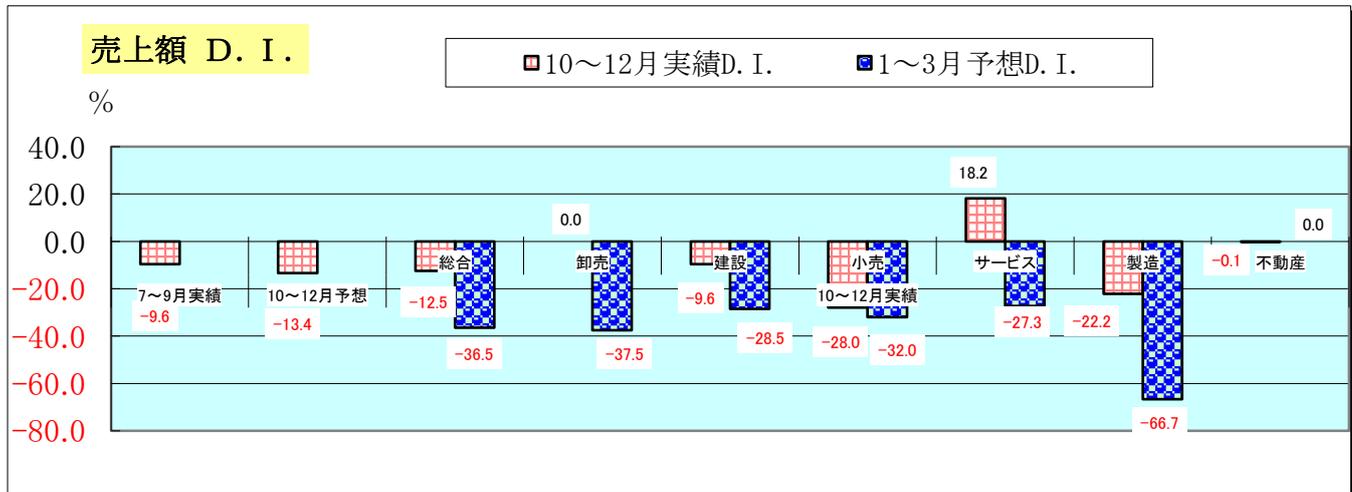
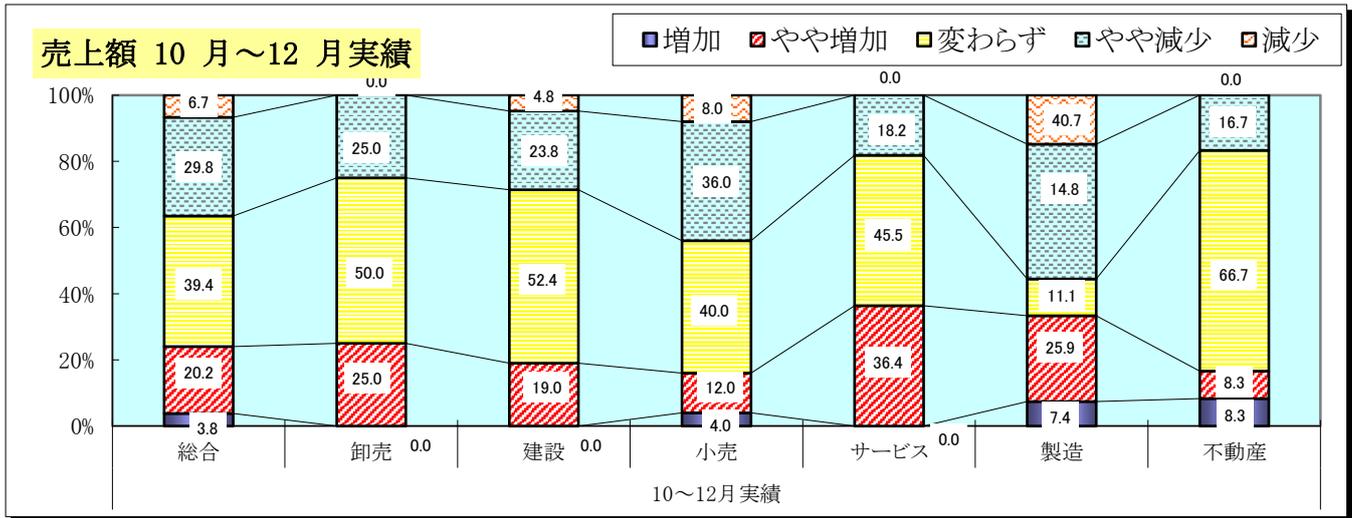
○ [全国の信用金庫の窓口からみた中小企業の景況] (信金中央金庫 地域・中小企業研究所調べ)

’25年10~12月期(今期)の業況判断D. I. は Δ 2.4、前期比3.3ポイント改善と、3四半期続けての小幅改善となった。収益面では、前年同期比売上額判断D. I. がプラス6.1、同収益判断D. I. が Δ 3.5と、ともに小幅改善した。販売価格判断D. I. はプラス26.4と4四半期ぶりに小幅上昇した。人手過不足判断D. I. は Δ 26.8と2四半期続けて人手不足感が強まった。設備投資実施企業割合は20.6%と3四半期ぶりに低下した。業種別の業況判断D. I. は、全6業種中、卸売業や製造業など4業種で、地域別には全11地域で、それぞれ改善した。’26年1~3月期(来期)の予想業況判断D. I. は Δ 7.9と、今期実績比5.5ポイントの低下を見込んでいる。業種別には全6業種で、また、地域別には全11地域中、南九州を除く10地域で、それぞれ低下の見通しとなっている。

2. 前期に比べた動き

(1) 売上額の動き

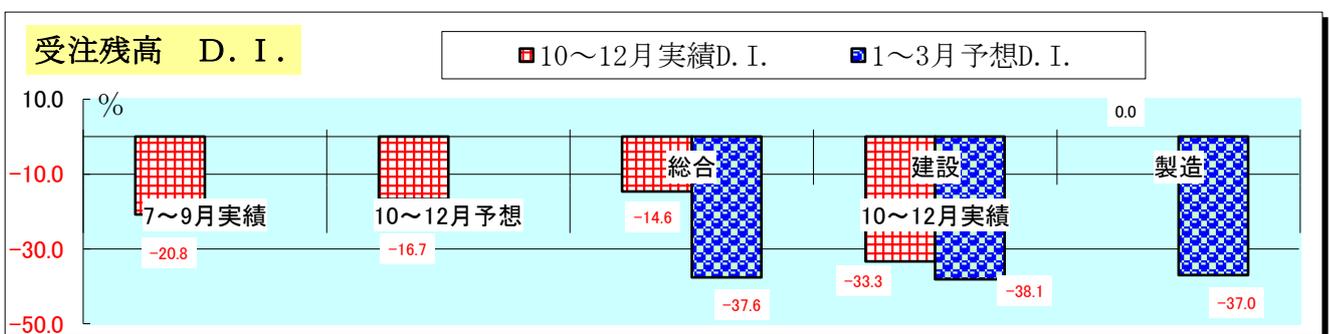
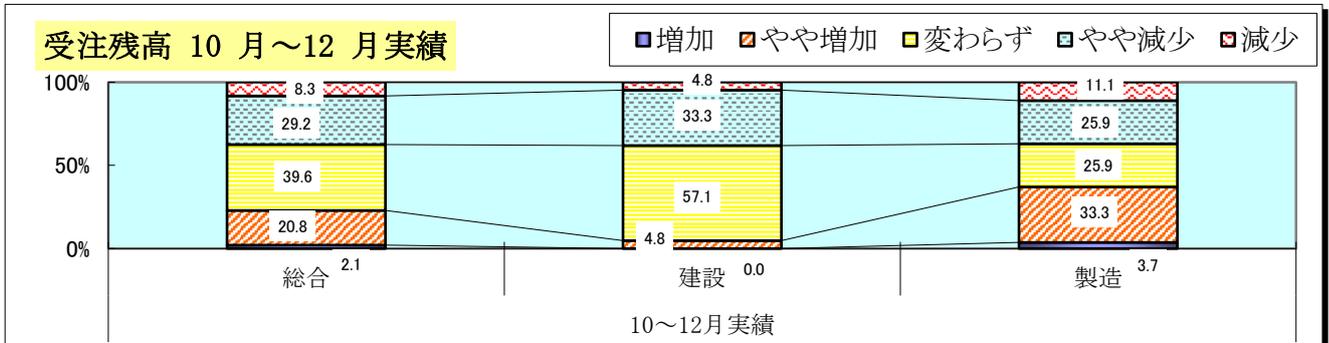
売上額		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	10～12月実績D. I.	1～3月予想D. I.
7～9月実績							-9.6	
10～12月予想							-13.4	
10～12月実績	総合	3.8	20.2	39.4	29.8	6.7	-12.5	-36.5
	卸売	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	-37.5
	建設	0.0	19.0	52.4	23.8	4.8	-9.6	-28.5
	小売	4.0	12.0	40.0	36.0	8.0	-28.0	-32.0
	サービス	0.0	36.4	45.5	18.2	0.0	18.2	-27.3
	製造	7.4	25.9	11.1	40.7	14.8	-22.2	-66.7
	不動産	8.3	8.3	66.7	16.7	0.0	-0.1	0.0



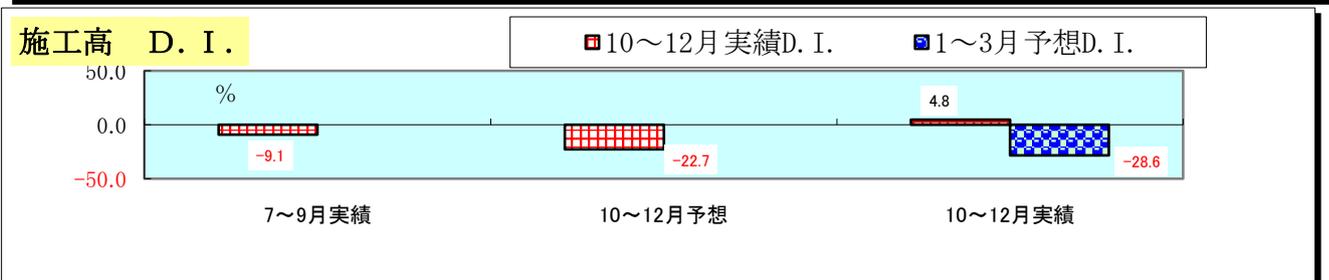
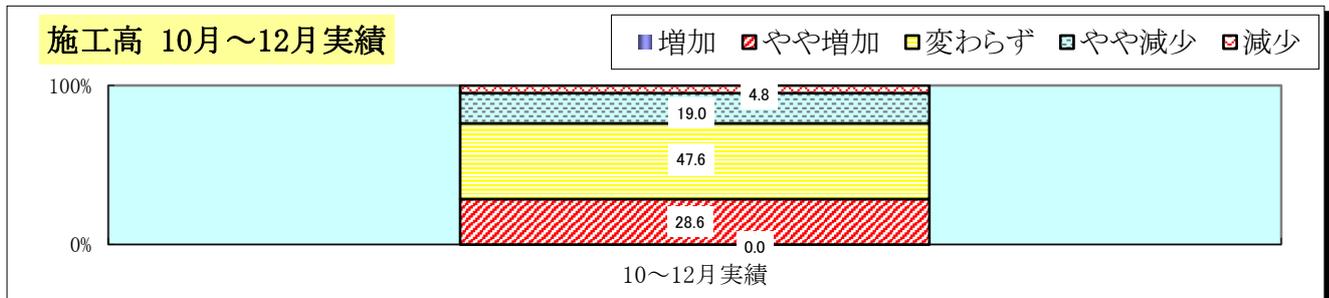
- 前期に比べて売上額が「増加」「やや増加」とした企業24.0%、「やや減少」「減少」とした企業は36.5%で今期D. I. は△12.5となりました。
- 今期の売上額の動きD. I. は、前期実績D. I. △9.6から2.9ポイント減少、前期調査における今期の予想D. I. △13.4に対し0.9ポイントの増加となりました。
業種別の今期D. I. は、サービス業と卸売業を除く業種で減少を示している。
- 1～3月予想D. I. は△36.5で、今期実績より24.0ポイントの売上高減少予想となりました。

(2) 受注残高・施工高の動き

受注残高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	10～12月実績D. I.	1～3月予想D. I.
7～9月実績							-20.8	
10～12月予想							-16.7	
10～12月実績	総合	2.1	20.8	39.6	29.2	8.3	-14.6	-37.6
	建設	0.0	4.8	57.1	33.3	4.8	-33.3	-38.1
	製造	3.7	33.3	25.9	25.9	11.1	0.0	-37.0



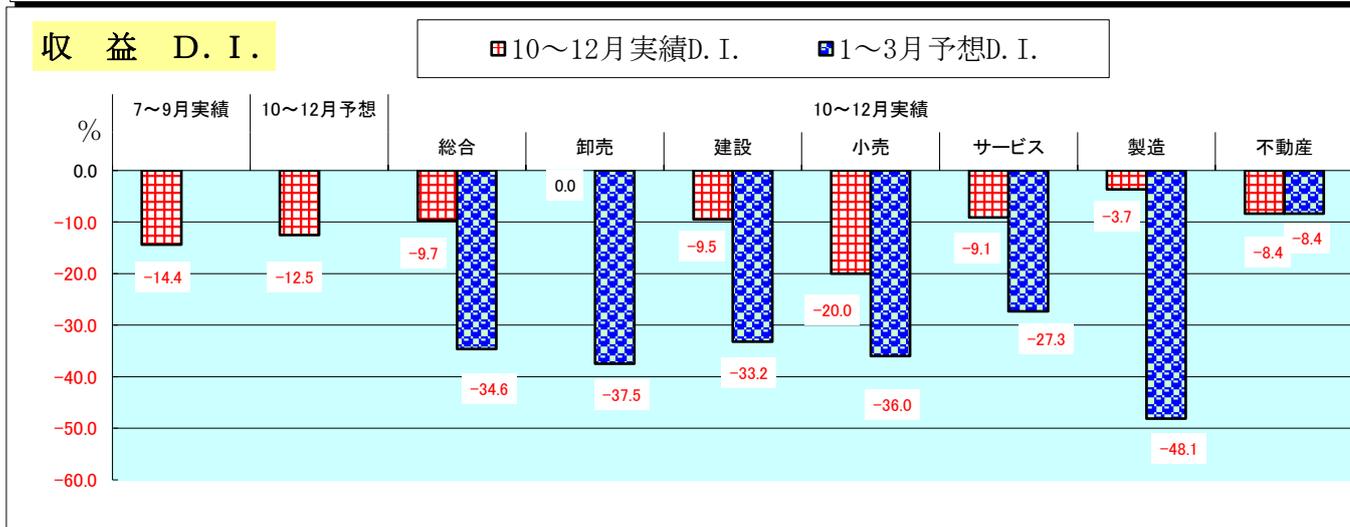
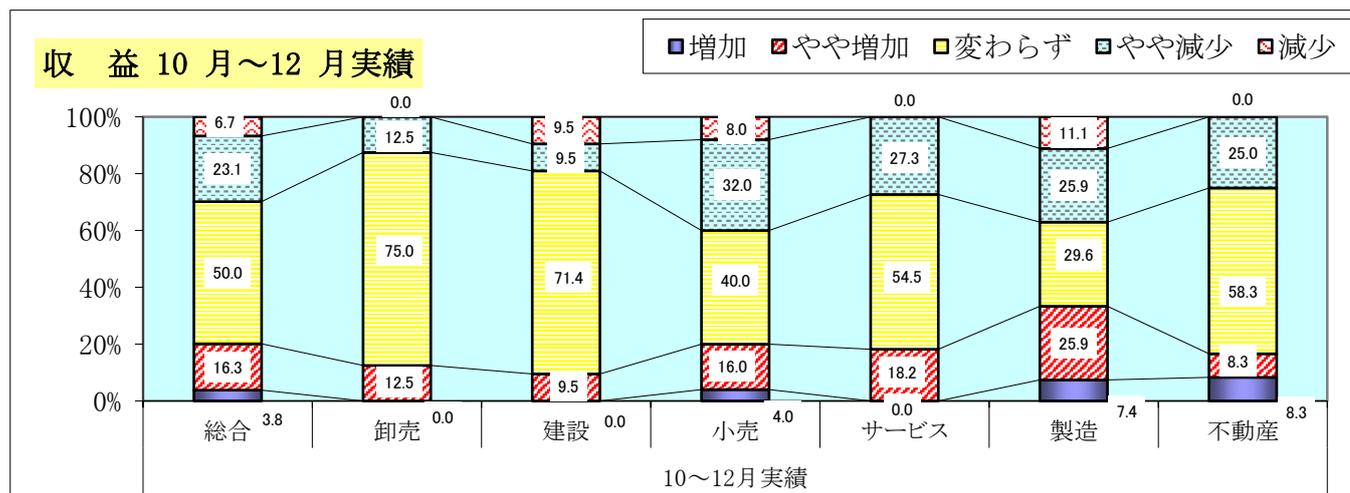
施工高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	10～12月実績D. I.	1～3月予想D. I.
7～9月実績							-9.1	
10～12月予想							-22.7	
10～12月実績		0.0	28.6	47.6	19.0	4.8	4.8	-28.6



- 今期の受注残高(建設業、製造業のみ)D. I. は△14.6で、前期実績D. I. △20.8に対し6.2ポイントの増加、前期調査における今期予想D. I. △16.7に対しても、2.1ポイントの増加となりました。また、1～3月の受注残高予想D. I. は△37.6で、今期実績対比23.0ポイントの減少予想となりました。
- 今期の施工高(建設業のみ)D. I. は4.8となり、前期実績D. I. △9.1に対し13.9ポイント増加し、前期調査における今期予想D. I. △22.7に対して27.5ポイント増加しました。また、施工高1～3月予想D. I. は△28.6、今期実績対比33.4ポイントの減少予想となりました。

(3) 収益の動き

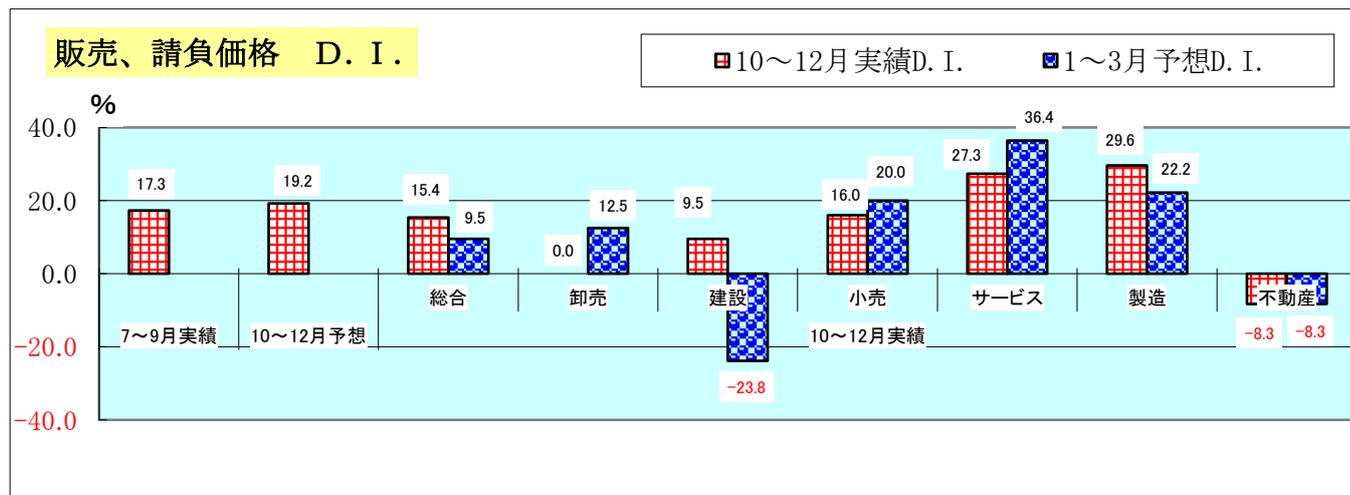
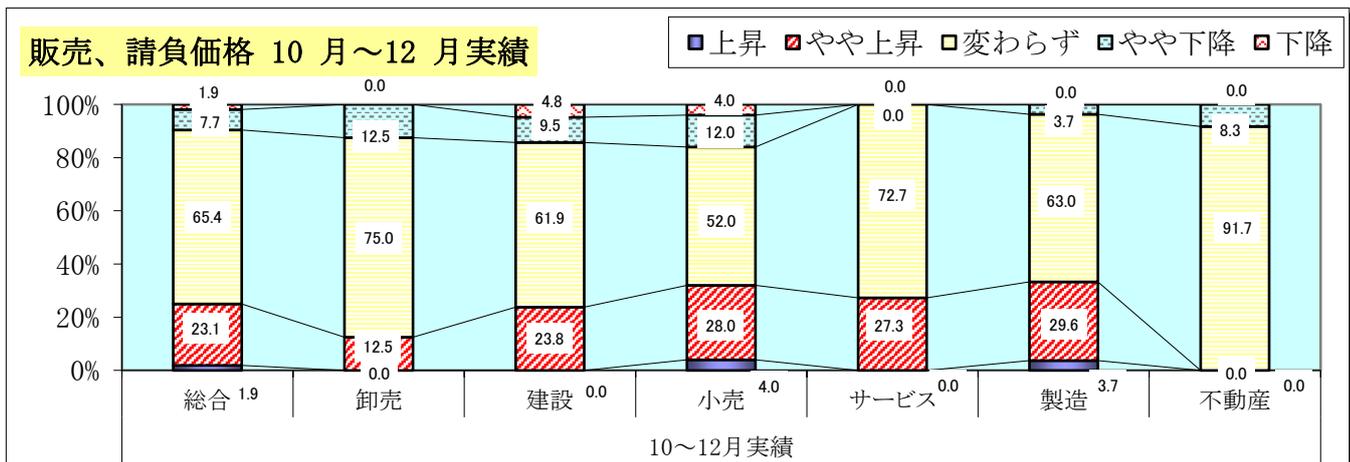
収益の動き		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	10~12月実績D. I.	1~3月予想D. I.
7~9月実績							-14.4	
10~12月予想							-12.5	
10~12月実績	総合	3.8	16.3	50.0	23.1	6.7	-9.7	-34.6
	卸売	0.0	12.5	75.0	12.5	0.0	0.0	-37.5
	建設	0.0	9.5	71.4	9.5	9.5	-9.5	-33.2
	小売	4.0	16.0	40.0	32.0	8.0	-20.0	-36.0
	サービス	0.0	18.2	54.5	27.3	0.0	-9.1	-27.3
	製造	7.4	25.9	29.6	25.9	11.1	-3.7	-48.1
	不動産	8.3	8.3	58.3	25.0	0.0	-8.4	-8.4



- 前期に比べて収益が「増加」「やや増加」とした企業は20.1%、「やや減少」「減少」とした企業は29.8%で、今期D. I. は△9.7となりました。
- 今期の収益D. I. は、前期実績D. I. △14.4から4.7ポイント増加し、前期調査における、今期予想D. I. △12.5に対しては2.8ポイント増加しました。
業種別の今期D. I. は、卸売業を除く全ての業種で減少を示しています。
- 1~3月予想D. I. は、全ての業種で減少予想を示しています。

(4) 販売価格（料金価格・請負価格）の動き

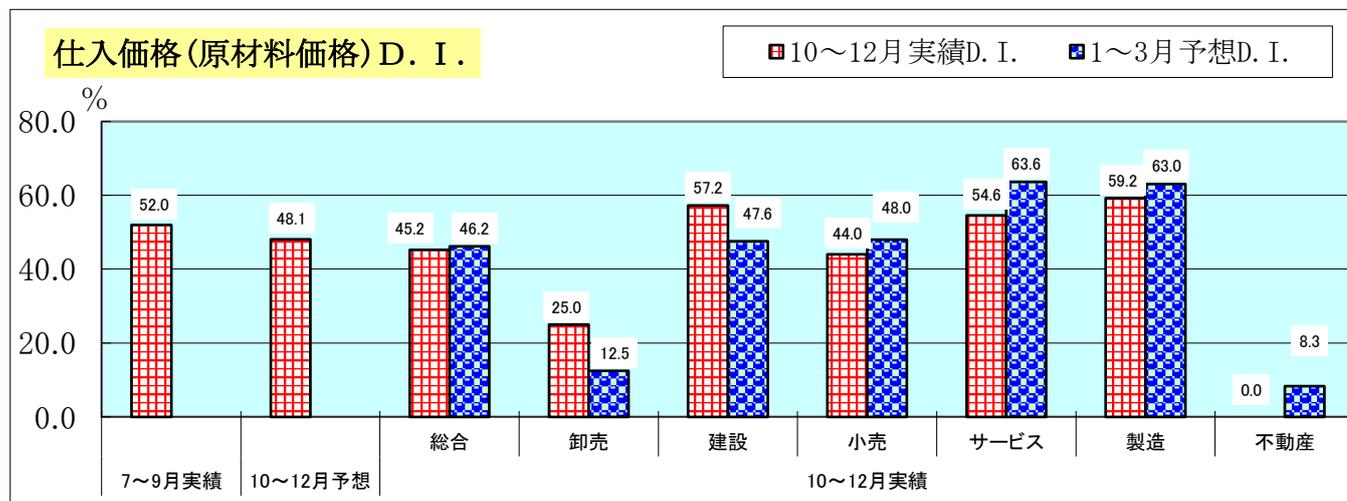
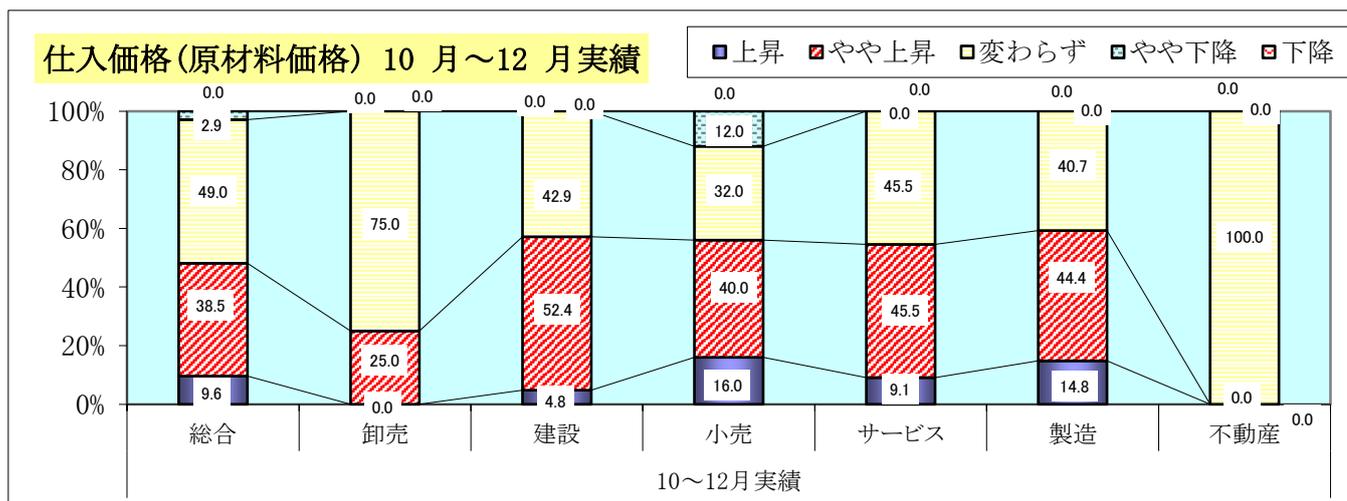
販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	10～12月実績D. I.	1～3月予想D. I.
7～9月実績							17.3	
10～12月予想							19.2	
10～12月実績	総合	1.9	23.1	65.4	7.7	1.9	15.4	9.5
	卸売	0.0	12.5	75.0	12.5	0.0	0.0	12.5
	建設	0.0	23.8	61.9	9.5	4.8	9.5	-23.8
	小売	4.0	28.0	52.0	12.0	4.0	16.0	20.0
	サービス	0.0	27.3	72.7	0.0	0.0	27.3	36.4
	製造	3.7	29.6	63.0	3.7	0.0	29.6	22.2
	不動産	0.0	0.0	91.7	8.3	0.0	-8.3	-8.3



- 前期に比べて販売価格が「上昇」「やや上昇」とした企業25.0%、「やや下降」「下降」とした企業は9.6%で、今期D.I.は15.4となりました。
- 今期の販売価格D.I.は、前期実績D.I.17.3から1.9ポイント下降し、前期調査における今期予想D.I.19.2に対しては3.8ポイントの下降となりました。
業種別の今期D.I.は、不動産業・卸売業を除く全ての業種で上昇を示しました。
- 1～3月予想D.I.は9.5で、今期実績より5.9ポイントの下降予想となりました。

(5) 仕入価格（原材料価格）の動き

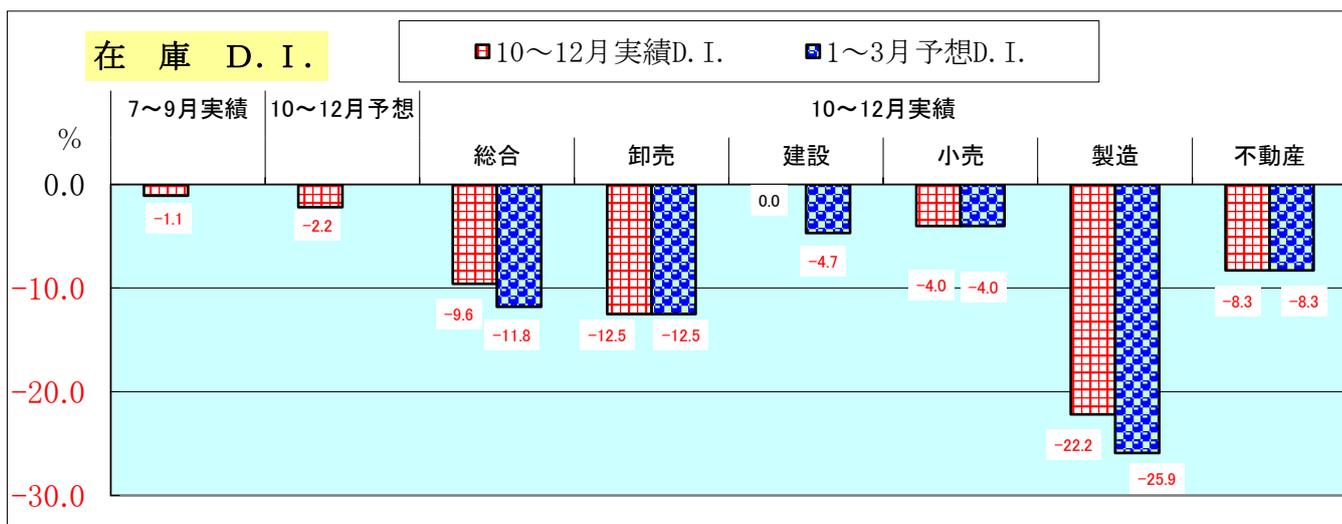
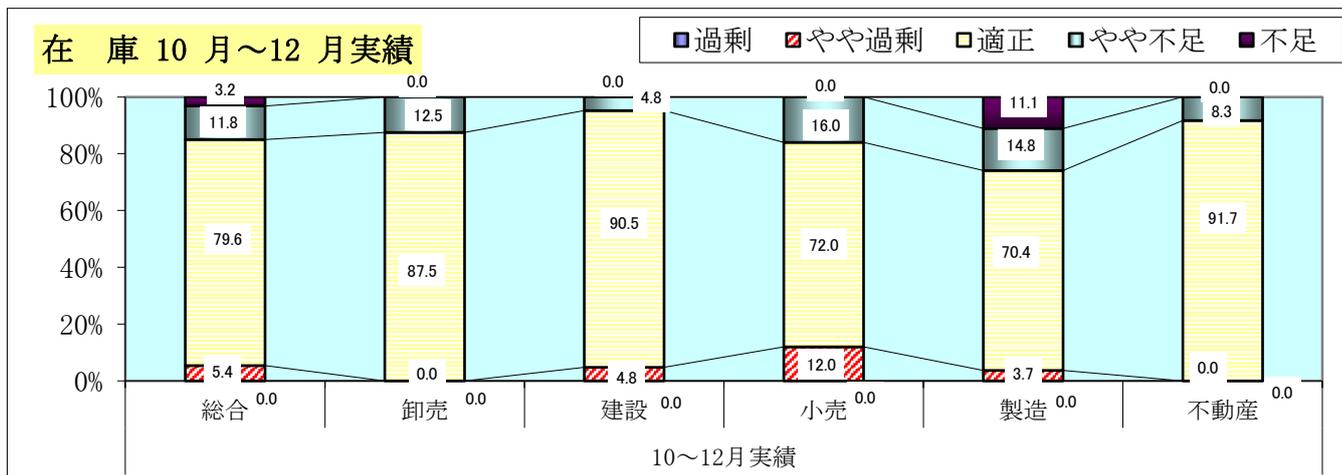
仕入価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	10～12月実績D. I.	1～3月予想D. I.
7～9月実績							52.0	
10～12月予想							48.1	
10～12月実績	総合	9.6	38.5	49.0	2.9	0.0	45.2	46.2
	卸売	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	25.0	12.5
	建設	4.8	52.4	42.9	0.0	0.0	57.2	47.6
	小売	16.0	40.0	32.0	12.0	0.0	44.0	48.0
	サービス	9.1	45.5	45.5	0.0	0.0	54.6	63.6
	製造	14.8	44.4	40.7	0.0	0.0	59.2	63.0
	不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	8.3



- 前期に比べて仕入価格が「上昇」「やや上昇」とした企業は48.1%、「やや下降」「下降」とした企業は2.9%で、今期D. I. は45.2となりました。
- 今期の仕入価格D. I. は、前期実績D. I. 52.0から6.8ポイント下降、前期調査における今期予想D. I. 48.1に対し2.9ポイントの下降となりました。
業種別の今期D. I. は、不動産業を除く全ての業種で高い水準の仕入価格上昇を示しました。
- 1～3月予想D. I. は46.2で、今期実績より1.0ポイントの上昇予想となりました。

(6) 在庫の動き

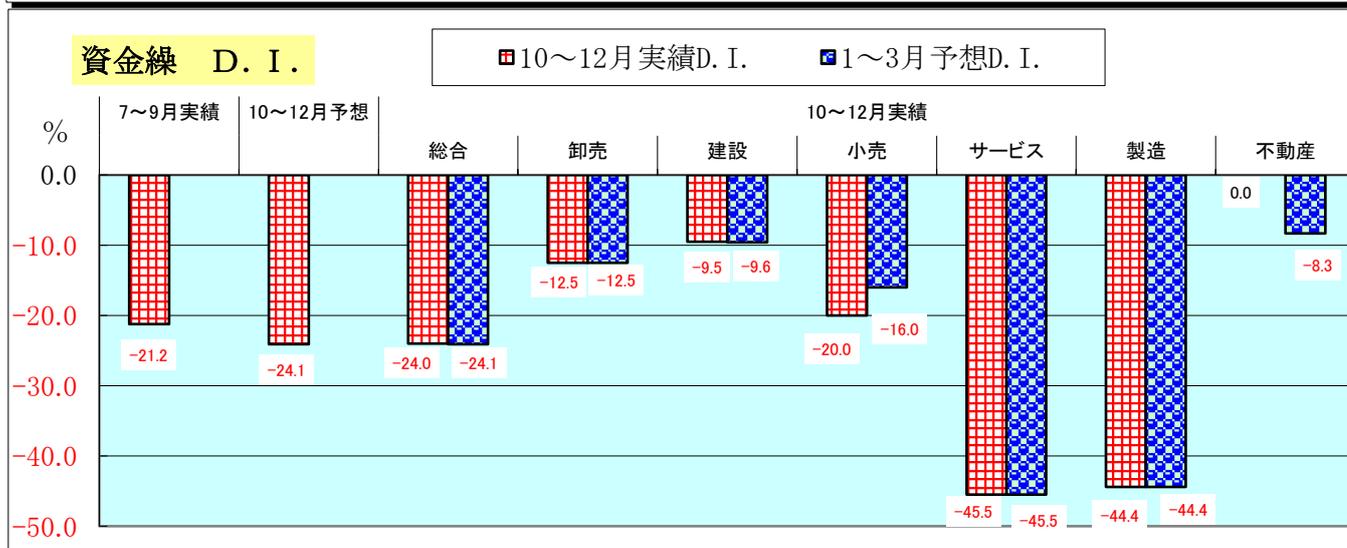
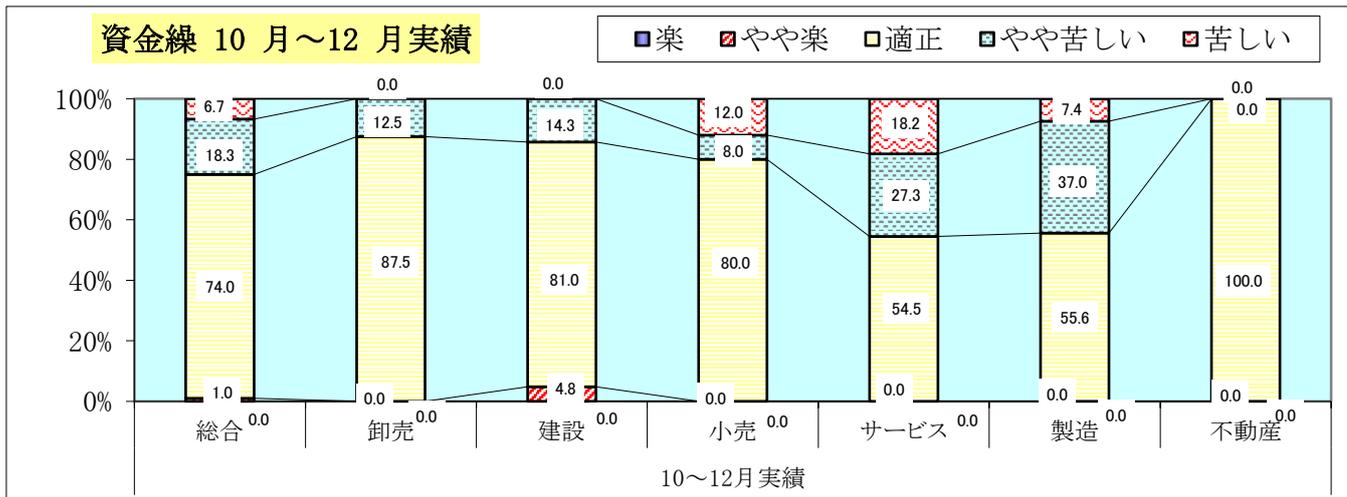
在庫		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	10~12月実績D. I.	1~3月予想D. I.
7~9月実績							-1.1	
10~12月予想							-2.2	
10~12月実績	総合	0.0	5.4	79.6	11.8	3.2	-9.6	-11.8
	卸売	0.0	0.0	87.5	12.5	0.0	-12.5	-12.5
	建設	0.0	4.8	90.5	4.8	0.0	0.0	-4.7
	小売	0.0	12.0	72.0	16.0	0.0	-4.0	-4.0
	製造	0.0	3.7	70.4	14.8	11.1	-22.2	-25.9
	不動産	0.0	0.0	91.7	8.3	0.0	-8.3	-8.3



- 前期に比べて在庫（サービス業を除く）が「過剰」「やや過剰」とした企業が5.4%、「やや不足」「不足」とした企業が15.0%で、今期D. I. は△9.6となりました。
- 今期の在庫D. I. は、前期実績D. I. △1.1より8.5ポイントの在庫不足となり、前期調査における今期予想D. I. △2.2に対し7.4ポイントの在庫不足となりました。
業種別の今期D. I. は、建設業を除く全ての業種で在庫不足を示しました。
- 1~3月予想D. I. は△11.8で、今期実績より2.2ポイント在庫不足の増加予想となりました。

(7) 資金繰りの動き

資金繰り		楽	やや楽	適正	やや苦しい	苦しい	10~12月実績D. I.	1~3月予想D. I.
7~9月実績							-21.2	
10~12月予想							-24.1	
10~12月実績	総合	0.0	1.0	74.0	18.3	6.7	-24.0	-24.1
	卸売	0.0	0.0	87.5	12.5	0.0	-12.5	-12.5
	建設	0.0	4.8	81.0	14.3	0.0	-9.5	-9.6
	小売	0.0	0.0	80.0	8.0	12.0	-20.0	-16.0
	サービス	0.0	0.0	54.5	27.3	18.2	-45.5	-45.5
	製造	0.0	0.0	55.6	37.0	7.4	-44.4	-44.4
	不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	-8.3

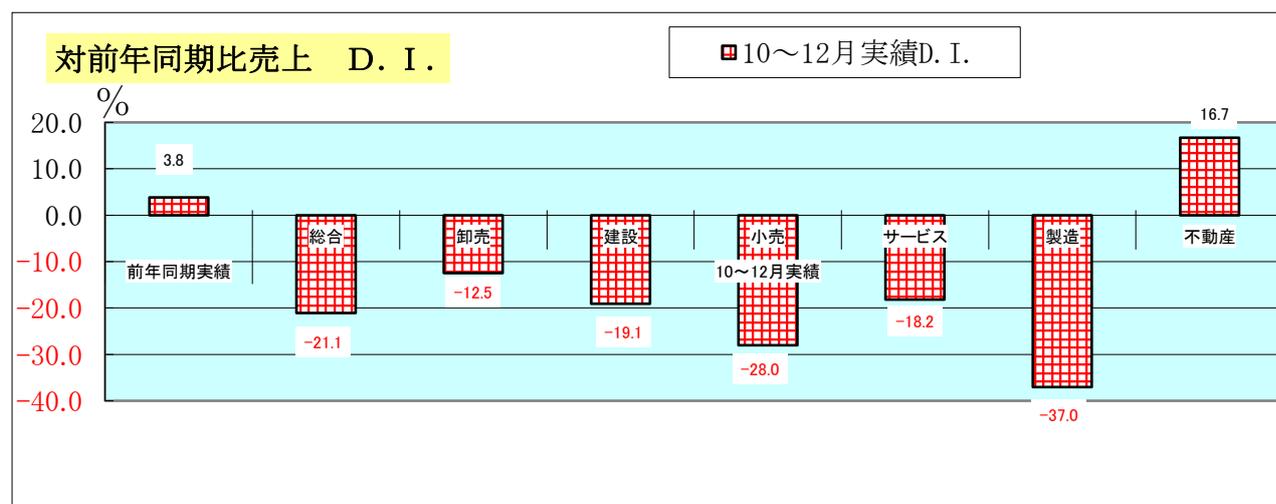
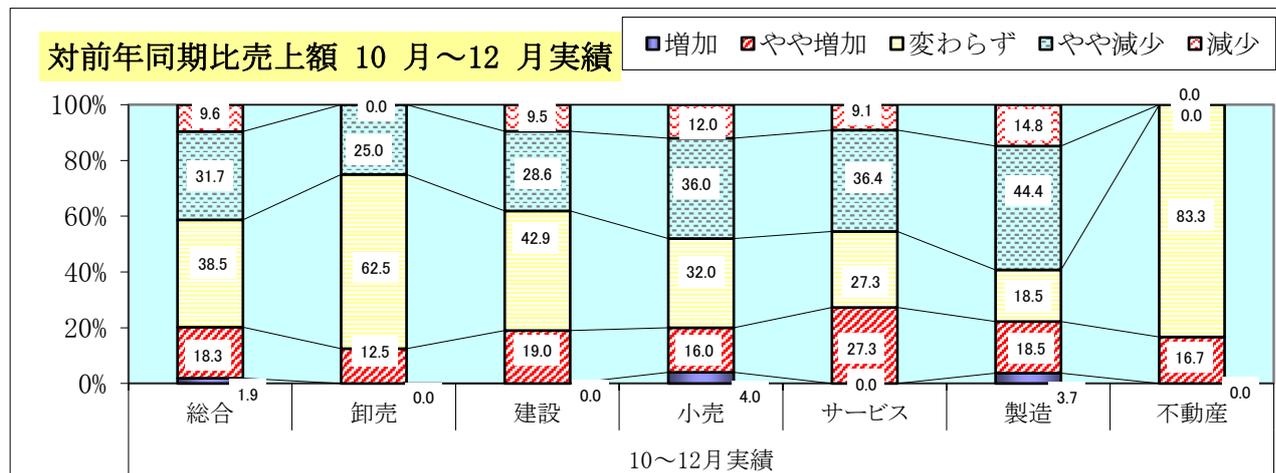


- 前期に比べて資金繰りが「楽」「やや楽」とした企業は1.0%、「やや苦しい」「苦しい」とした企業は25.0%となり、今期D. I. は△24.0となりました。
- 今期の資金繰りD. I. △24.0は、前期実績D. I. △21.2から2.8ポイント悪化。前期調査における今期予想D. I. △24.1に対して0.1ポイント良化となりました。
業種別の今期D. I. は、不動産業を除く全ての業種で資金繰りの苦しい状況が窺われます。
- 1~3月予想D. I. は△24.1で、今期実績より0.1ポイント悪化予想となりました。

3. 対前年同期に比べた動き

(1) 売上

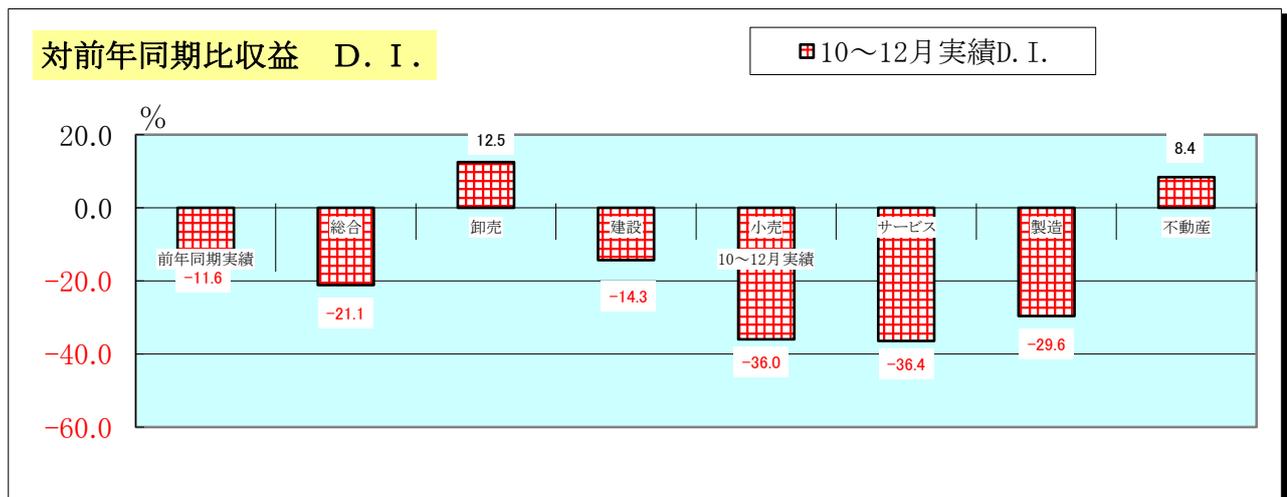
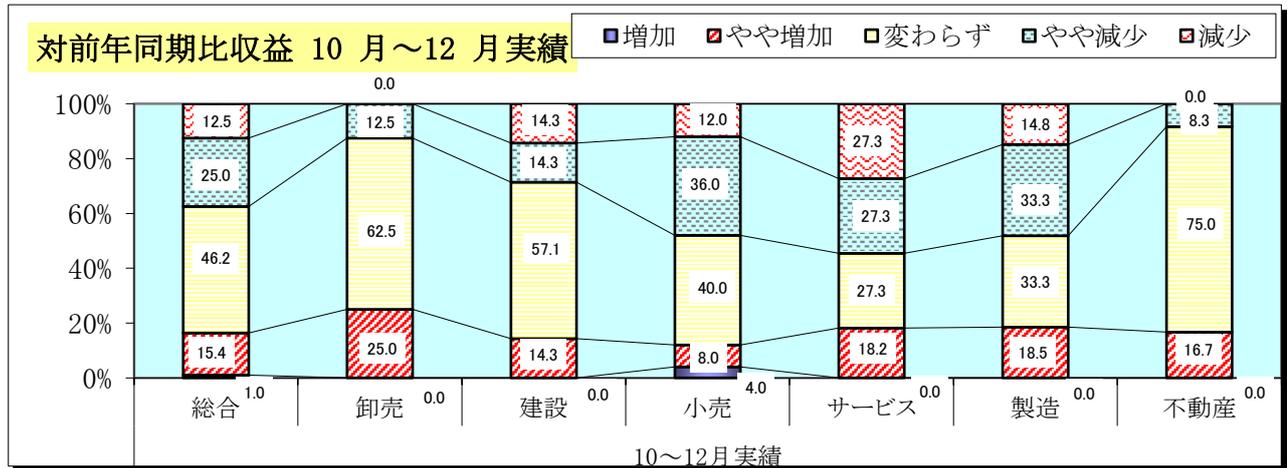
対前年同期比売上		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	10～12月実績D. I.
前年同期実績							3.8
10～12月実績	総合	1.9	18.3	38.5	31.7	9.6	-21.1
	卸売	0.0	12.5	62.5	25.0	0.0	-12.5
	建設	0.0	19.0	42.9	28.6	9.5	-19.1
	小売	4.0	16.0	32.0	36.0	12.0	-28.0
	サービス	0.0	27.3	27.3	36.4	9.1	-18.2
	製造	3.7	18.5	18.5	44.4	14.8	-37.0
	不動産	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0	16.7



- 前年同期と比べた売上実績については、「増加」「やや増加」とした企業は20.2%、「やや減少」「減少」とした企業は41.3%で、今期D. I. は△21.1となりました。
- 今期D. I. は、前年同期実績D. I. 3.8より24.9ポイント減少となりました。
- 業種別の今期D. I. は、不動産業16.7の増加を除く全ての業種で減少を示しました。

(2) 収益

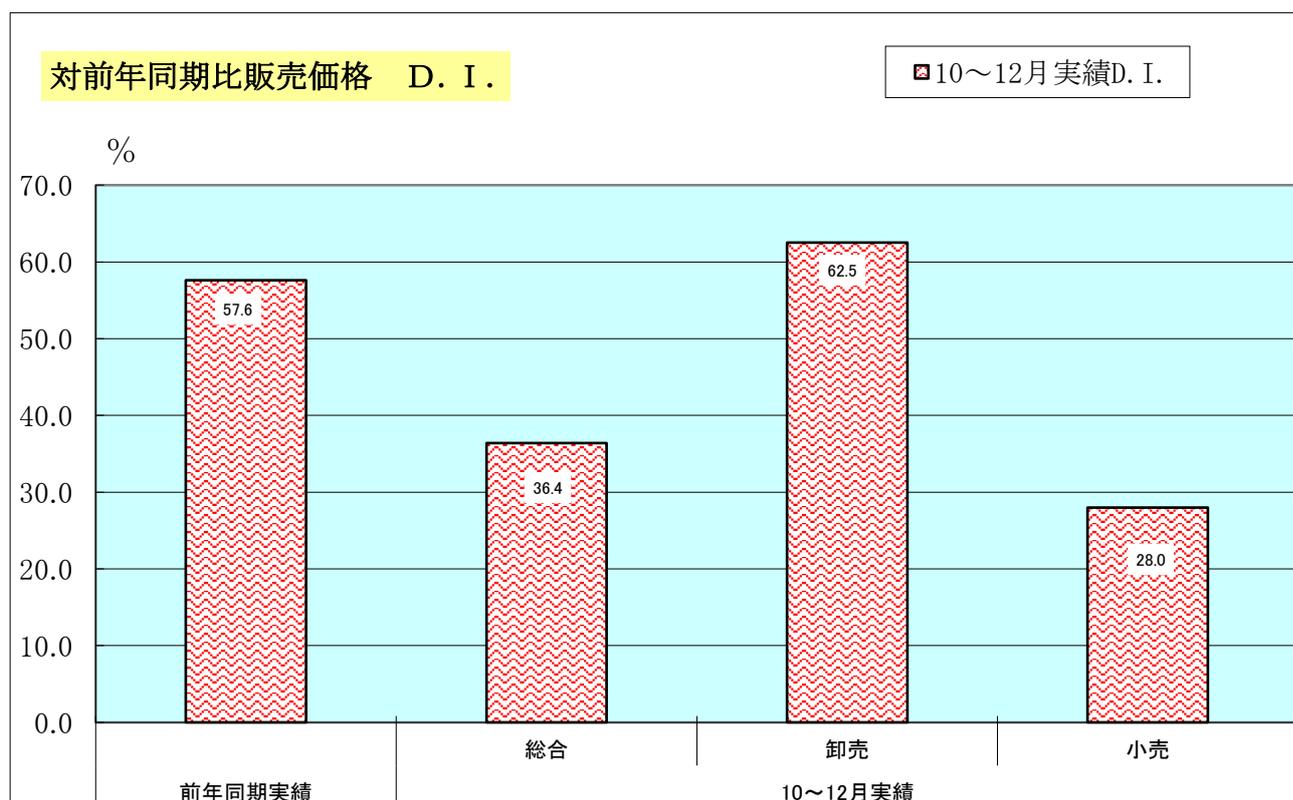
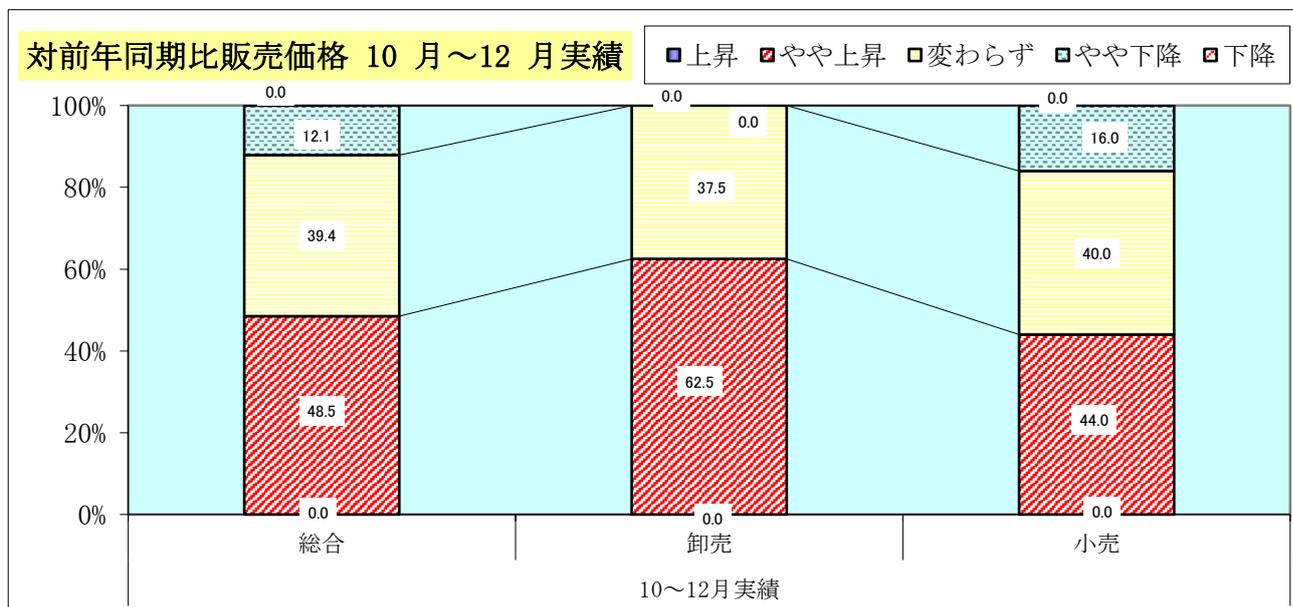
対前年同期比収益		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	10～12月実績D. I.
前年同期実績							-11.6
10～12月実績	総合	1.0	15.4	46.2	25.0	12.5	-21.1
	卸売	0.0	25.0	62.5	12.5	0.0	12.5
	建設	0.0	14.3	57.1	14.3	14.3	-14.3
	小売	4.0	8.0	40.0	36.0	12.0	-36.0
	サービス	0.0	18.2	27.3	27.3	27.3	-36.4
	製造	0.0	18.5	33.3	33.3	14.8	-29.6
	不動産	0.0	16.7	75.0	8.3	0.0	8.4



- 前年同期と比べた収益については、「増加」「やや増加」とした企業は16.4%、「やや減少」「減少」とした企業は37.5%で、今期D. I.は△21.1となりました。
- 今期D. I.は、前年同期実績D. I. △11.6に対し、9.5ポイント減少となりました。
- 業種別の今期D. I.は、卸売業と不動産業を除く全ての業種で減少となりました。

(3) 販売価格

対前年同期比販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	10～12月実績D. I.
前年同期実績							57.6
10～12月実績	総合	0.0	48.5	39.4	12.1	0.0	36.4
	卸売	0.0	62.5	37.5	0.0	0.0	62.5
	小売	0.0	44.0	40.0	16.0	0.0	28.0

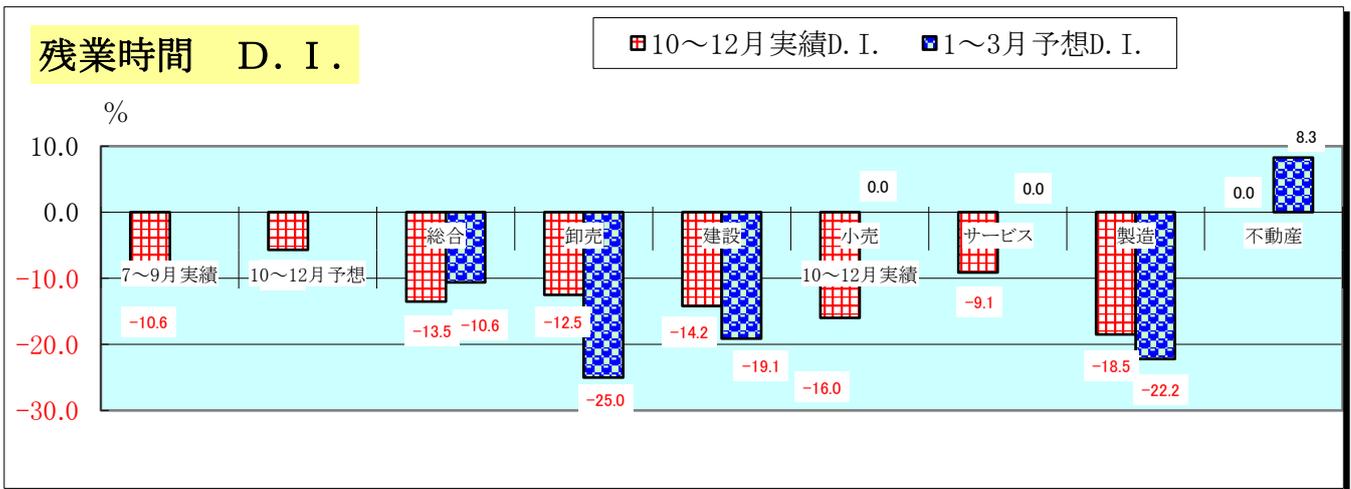
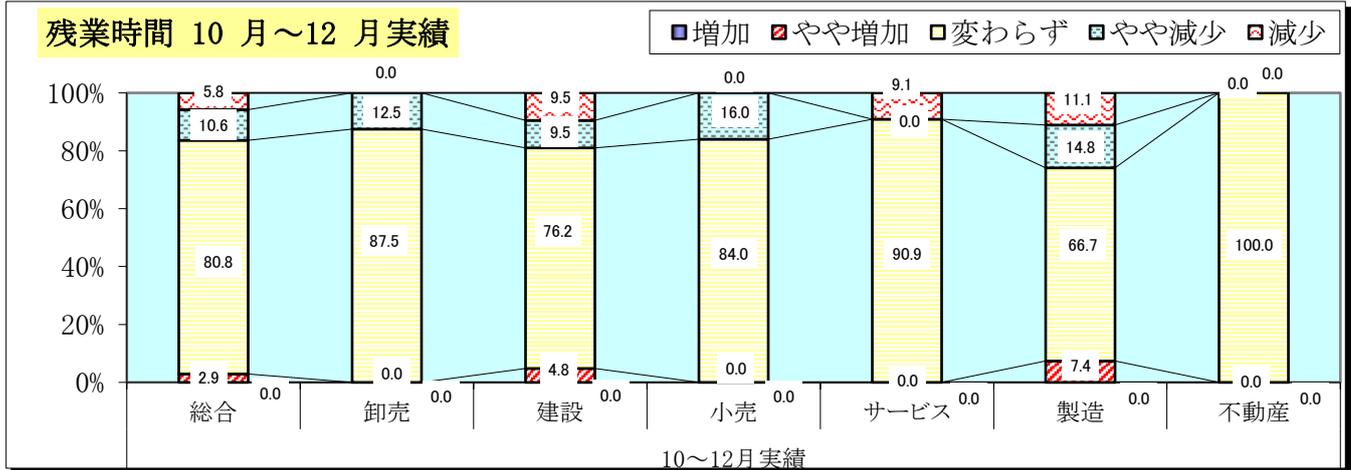


- 前年同期と比べた販売価格（卸売・小売のみ）については「上昇」「やや上昇」とした企業は48.5%、「やや下降」「下降」とした企業は12.1%となり、今期D. I.は36.4となりました。
- 今期D. I.は、前年同期実績D. I.57.6に対し21.2ポイント下降しました。
- 業種別の今期D. I.は、卸売業62.5小売業28.0の上昇を示しました。

4. 雇用面の動き

(1) 残業時間

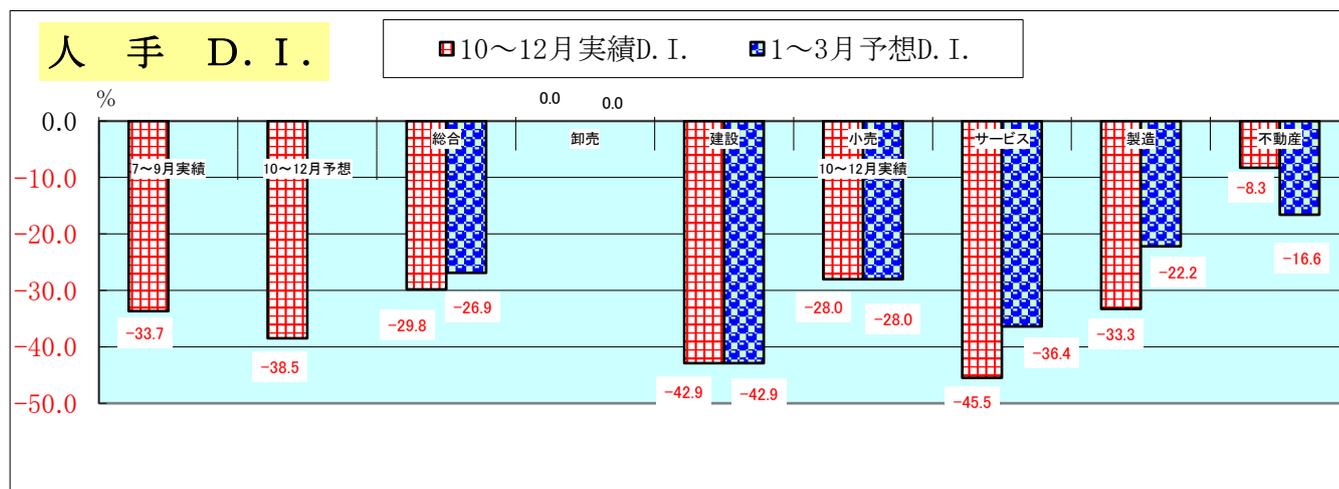
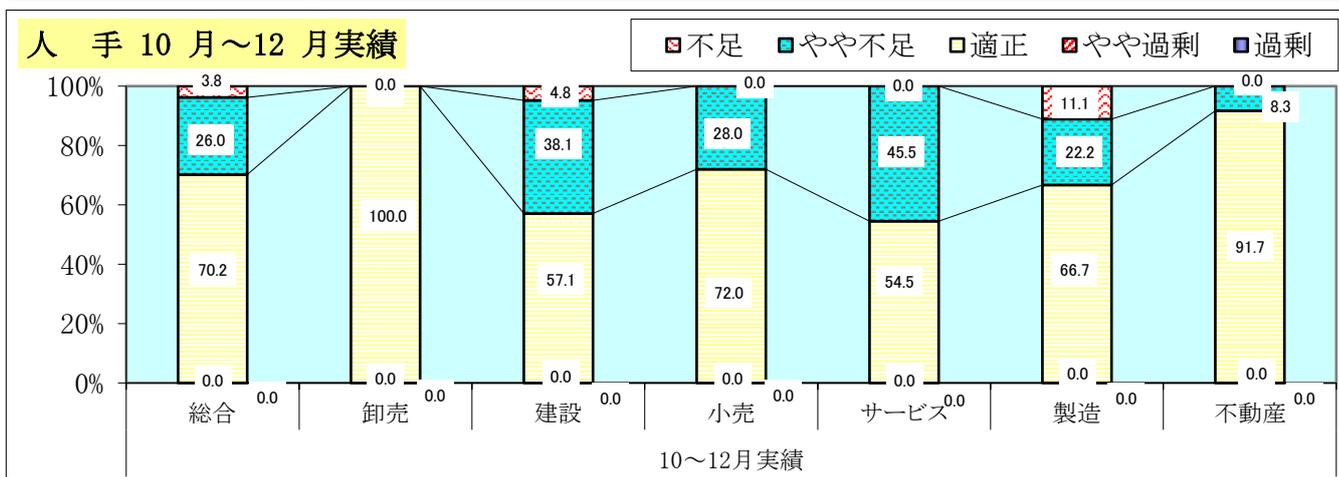
残業時間		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	10~12月実績D. I.	1~3月予想D. I.
7~9月実績							-10.6	
10~12月予想							-5.7	
10~12月実績	総合	0.0	2.9	80.8	10.6	5.8	-13.5	-10.6
	卸売	0.0	0.0	87.5	12.5	0.0	-12.5	-25.0
	建設	0.0	4.8	76.2	9.5	9.5	-14.2	-19.1
	小売	0.0	0.0	84.0	16.0	0.0	-16.0	0.0
	サービス	0.0	0.0	90.9	0.0	9.1	-9.1	0.0
	製造	0.0	7.4	66.7	14.8	11.1	-18.5	-22.2
	不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	8.3



- 前期に比べて残業時間が、「増加」「やや増加」とした企業は2.9%、「やや減少」「減少」とした企業は16.4%で、今期D. I. は△13.5となりました。
- 今期D. I. は、前期実績D. I. △10.6に対し2.9ポイント残業時間の減少となりました。前期調査における今期予想D. I. △5.7に対しても7.8ポイント減少となりました。業種別の今期D. I. は、不動産業を除く全ての業種について減少を示しました。
- 1~3月予想D. I. は△10.6で、今期実績より2.9ポイント残業時間の増加予想となりました。

(2) 人手

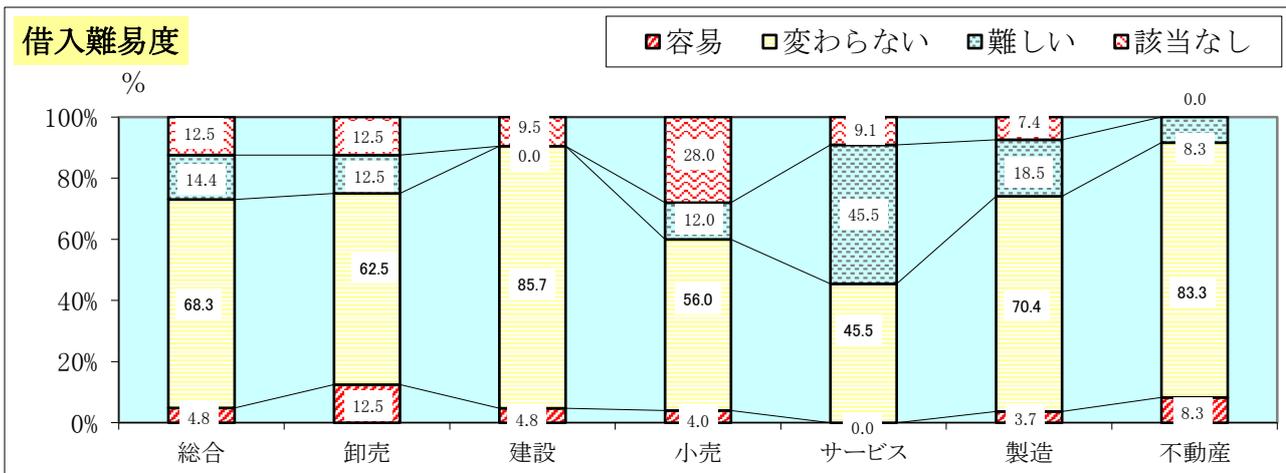
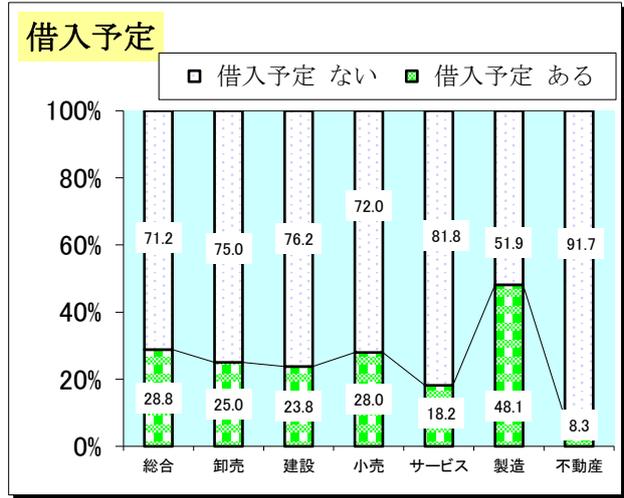
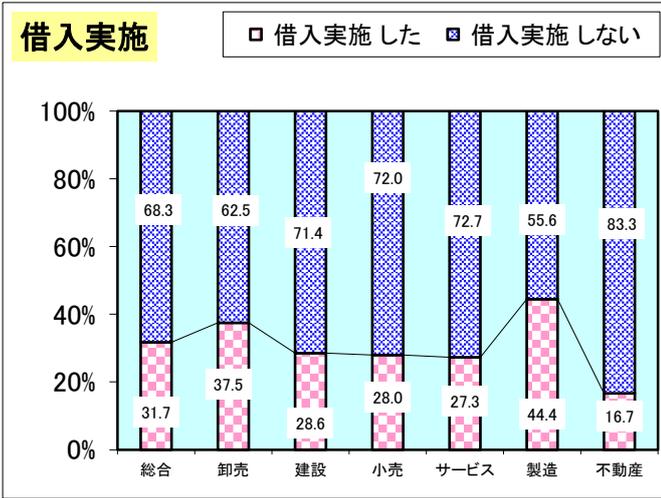
人 手		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	10~12月実績D. I.	1~3月予想D. I.
7~9月実績							-33.7	
10~12月予想							-38.5	
10~12月実績	総合	0.0	0.0	70.2	26.0	3.8	-29.8	-26.9
	卸売	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	建設	0.0	0.0	57.1	38.1	4.8	-42.9	-42.9
	小売	0.0	0.0	72.0	28.0	0.0	-28.0	-28.0
	サービス	0.0	0.0	54.5	45.5	0.0	-45.5	-36.4
	製造	0.0	0.0	66.7	22.2	11.1	-33.3	-22.2
	不動産	0.0	0.0	91.7	8.3	0.0	-8.3	-16.6



- 今期の人手過不足については、「過剰」「やや過剰」とした企業は0.0%、「やや不足」「不足」とした企業は29.8%で、今期D.I.は△29.8となりました。
- 今期D.I.は前期調査における実績D.I.から3.9ポイント人手不足の緩和、今期予想D.I.に対しても、8.7ポイント人手不足の緩和を示しました。
業種別の今期D.I.は、卸売業を除く全ての業種で人手不足を示しております。
- 1~3月予想D.I.は△26.9で、今期実績より2.9ポイント人手不足の緩和予想となりました。

5. 借入金の動き

借入の実施	借入実施		借入予定		借入難易度			
	した	しない	ある	ない	容易	変わらない	難しい	該当なし
総合	31.7	68.3	28.8	71.2	4.8	68.3	14.4	12.5
卸売	37.5	62.5	25.0	75.0	12.5	62.5	12.5	12.5
建設	28.6	71.4	23.8	76.2	4.8	85.7	0.0	9.5
小売	28.0	72.0	28.0	72.0	4.0	56.0	12.0	28.0
サービス	27.3	72.7	18.2	81.8	0.0	45.5	45.5	9.1
製造	44.4	55.6	48.1	51.9	3.7	70.4	18.5	7.4
不動産	16.7	83.3	8.3	91.7	8.3	83.3	8.3	0.0

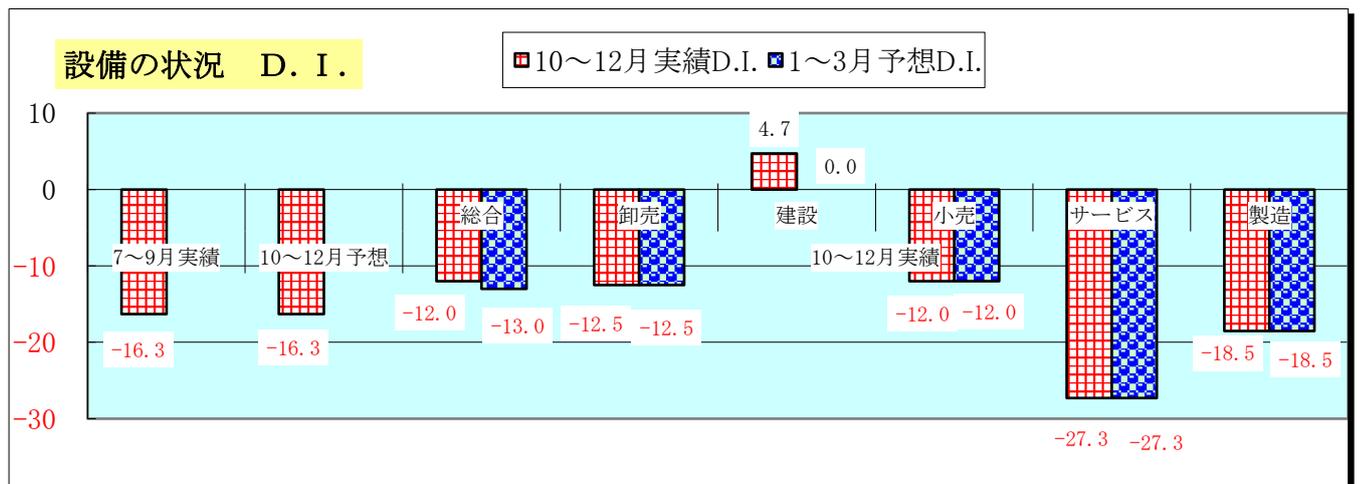
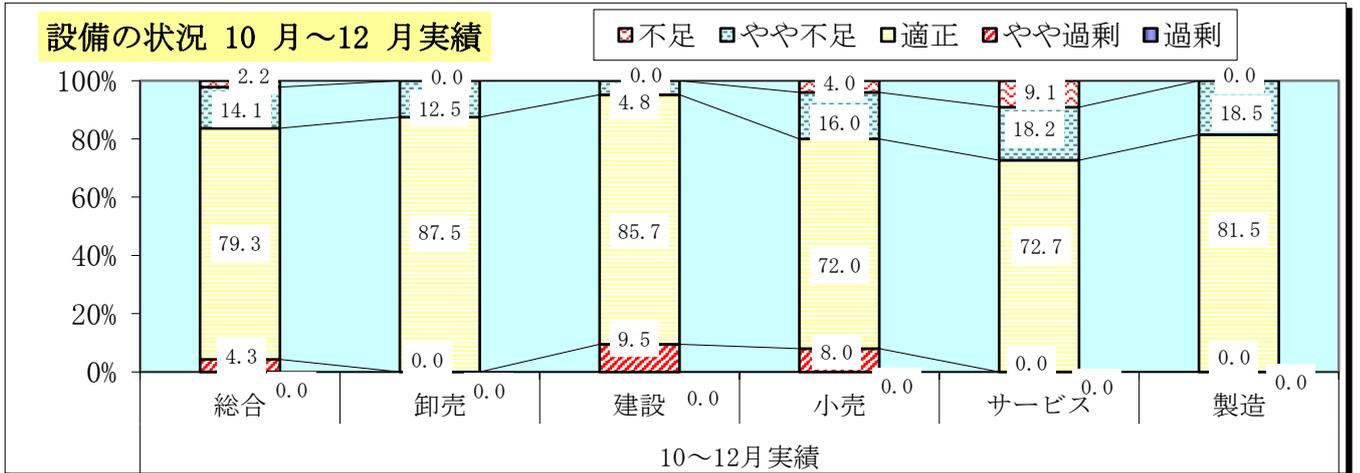


- 今期中に借入を「実施した」企業は全体で31.7%（前期27.9%）となりました。業種別では、製造業44.4%、卸売業37.5%等となりました。
- 今後の借入予定では、全体で28.8%の企業が「予定あり」と回答しています。業種別では、製造業48.1%、小売業28.0%等となりました。
- 民間金融機関からの借入難易度については、「変わらない」と回答した企業が全体で68.3%（前期67.3%）、「容易」4.8%（前期5.8%）、「難しい」14.4%（前期16.3%）となりました。

6. 設備投資の動き

(1) 設備状況

設備の動き		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	10～12月実績D.I.	1～3月予想D.I.
7～9月実績							-16.3	
10～12月予想							-16.3	
10～12月実績	総合	0.0	4.3	79.3	14.1	2.2	-12.0	-13.0
	卸売	0.0	0.0	87.5	12.5	0.0	-12.5	-12.5
	建設	0.0	9.5	85.7	4.8	0.0	4.7	0.0
	小売	0.0	8.0	72.0	16.0	4.0	-12.0	-12.0
	サービス	0.0	0.0	72.7	18.2	9.1	-27.3	-27.3
製造	0.0	0.0	81.5	18.5	0.0	-18.5	-18.5	



- 今期の設備状況(不動産を除く)について、「過剰」「やや過剰」とした企業は4.3%、「やや不足」「不足」とした企業は16.3%で、今期D.I.は△12.0となりました。
- 今期D.I.は、前期実績D.I.および今期予想D.I.ともに△16.3に対して4.3ポイント不足感が弱まりました。
業種別の今期D.I.は、建設業を除き全ての業種で不足を示しています。
- 1～3月予想D.I.は△13.0で、今期実績より△1.0ポイント不足感が強まる予想となりました。

(2) 設備投資の実施と予定状況

(複数回答)

設備投資の実施内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
10～12月(件数) 総合	1	5	6	6	5	1	75
卸売	0	0	0	1	0	0	7
建設	0	1	4	3	4	0	13
小売	0	-	-	1	1	0	24
サービス	1	0	0	0	0	0	10
製造	0	4	2	1	0	1	21

設備投資の予定内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
1～3月(件数) 総合	1	3	5	1	4	0	81
卸売	0	0	0	0	1	0	7
建設	1	1	2	1	2	0	16
小売	0	-	-	0	0	0	25
サービス	0	1	1	0	0	0	9
製造	0	1	2	0	1	0	24

- 設備投資の実施状況は、「実施した」件数が延べ24件で前期調査時を2件下回りました。
業種別では、建設業が12件、製造業が8件、小売業2件、サービス業・卸売業が共に1件となりました。
- 来期の設備投資予定は、「予定あり」と回答した件数は延べ14件となりました。
業種別では、建設7件、製造業4件、サービス業2件、卸売業1件となりました。
設備投資の予定内容は、「機械更改」が5件、「車両」4件、「機械新增設」3件、「土地建物」、「事務機器」が共に1件となりました。

経営上の問題点（項目別構成比「集計」）
（業種別度数）

（複数回答）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
売上の停滞・減少	3	2	7	6	15	13	4	4	11	16	3	4	43	45	15.8	17.2
同業者間の競争激化	0	0	2	2	4	5	2	2	0	0	3	2	11	11	4.0	4.2
利幅の縮小	2	1	8	10	5	8	3	3	8	9	2	3	28	34	10.3	13.0
人件費の増加	3	3	4	3	2	5	5	4	6	4	4	2	24	21	8.8	8.0
工場・機械（店舗設備）の狭小・老朽化	0	0	0	0	0	1	3	3	5	5	0	0	8	9	2.9	3.4
人件費以外の経費の増加	1	1	0	0	2	1	1	2	4	3	2	1	10	8	3.7	3.1
大手企業（大型店）との競争激化	1	1	0	0	1	1	1	1	0	1	3	4	6	8	2.2	3.1
合理化の不足	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.0	0.4
天候の不順	0	0	1	1	4	4	2	1	2	0	0	0	9	6	3.3	2.3
代金回収の悪化	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0.4	0.4
原材料高・材料価格の上昇	0	0	14	10	0	0	5	3	18	18	0	0	37	31	13.6	11.9
地場産業の衰退	0	0	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	4	4	1.5	1.5
集客力の低下	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0.7	0.8
駐車場・資材確保難	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
為替レートの変動	2	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3	3	1.1	1.1
販売商品の不足・商品物件の不足	1	1	0	0	3	1	0	0	0	0	4	4	8	6	2.9	2.3
販売納入先からの値下げ要請	1	1	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	3	4	1.1	1.5
人手不足	2	1	9	9	5	4	3	4	5	4	1	2	25	24	9.2	9.2
商圏人口の減少	0	0	0	0	8	10	0	1	0	0	0	0	8	11	2.9	4.2
取引先の減少	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	4	4	1.5	1.5
生産能力の不足・技術力の不足	0	0	2	3	0	0	0	0	3	2	0	0	5	5	1.8	1.9
輸入製品（商品）との競争激化	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	3	1	1.1	0.4
問題なし	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	2	1	0.7	0.4
地価の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.0	0.4
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
流通経路競争の激化	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
大手企業・工場の縮小・撤退	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
親企業による選別の強化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
小口注文・多頻度配送の激化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
商品物件の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	4	2	1.5	0.8
取扱商品（業務）の陳腐化	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
仕入先からの値上り要請	2	2	0	0	7	5	0	0	5	2	0	0	14	9	5.1	3.4
下請けの確保難	0	0	4	6	0	0	0	0	1	0	0	0	5	6	1.8	2.3
合計	20	17	54	54	66	66	31	28	74	71	27	25	272	261	100.0	100.0

○ 各企業が経営上の問題点として挙げている項目を見ていくと

第1位～ 「売上の停滞・減少」 45件
 第2位～ 「利幅の縮小」 34件
 第3位～ 「原材料高・材料価格の上昇」 31件

前期			
第1位～	「売上の停滞・減少」	43件	
第2位～	「原材料高・材料価格の上昇」	37件	
第3位～	「利幅の縮小」	28件	

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第1位	第2位	第3位
卸売業	人件費の増加 3	売上の停滞・減少、為替レートの変動、仕入先からの値上り要請 2	利幅の縮小、他7項目 1
建設業	利幅の縮小 10 原材料高・材料価格の上昇	人手不足 9	売上の停滞・減少 下請けの確保難 6
小売業	売上の停滞・減少 13	商圏人口の減少 10	利幅の縮小 8
サービス業	売上の停滞・減少、人件費の増加、人手不足 4	利幅の縮小、工場・機械（店舗設備）の狭小・老朽化、原材料高・材料価格の上昇 3	同業者間の競争激化 人件費以外の経費の増加 2
製造業	原材料高・材料価格の上昇 18	売上の停滞・減少 16	利幅の縮小 9
不動産業	売上の停滞・減少、大手企業（大型店）との競争激化、販売商品の不足・商品物件の不足 4	利幅の縮小 3	同業者間の競争激化、人件費の増加、人手不足、商品物件の高騰 2

当面の重点経営施策（項目別構成比「集計」）（複数回答）
（業種別度数）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
経費を節減する	2	5	8	7	15	12	4	6	18	20	7	7	54	57	21.0	23.4
販路を広げる	5	4	6	6	0	0	3	4	11	14	2	3	27	31	10.5	12.7
情報力を強化する	2	1	8	7	0	0	0	0	5	8	8	7	23	23	8.9	9.4
人材を確保する	2	2	13	15	4	3	6	5	15	10	2	2	42	37	16.3	15.2
技術力を強化（高める）	0	0	7	7	0	0	0	1	0	0	0	0	7	8	2.7	3.3
流通経路の見直しをする	0	0	0	0	0	0	0	0	7	5	0	0	7	5	2.7	2.0
機械化を推進する	0	0	0	0	1	1	2	2	1	1	0	0	4	4	1.6	1.6
パート化を図る	0	0	1	1	2	0	1	2	2	1	1	1	7	5	2.7	2.0
新商品・技術の開発・新しい工法の導入	1	2	2	1	0	0	2	2	5	0	0	0	10	5	3.9	2.0
宣伝・広告を強化する	0	0	0	0	0	0	2	1	3	3	1	1	6	5	2.3	2.0
品揃えを充実（改善）する	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	2	1	0.8	0.4
新しい事業を始める	0	0	0	0	5	4	5	4	0	0	3	1	13	9	5.1	3.7
仕入先を開拓・選別する	0	0	0	0	8	4	0	0	0	0	0	0	8	4	3.1	1.6
その他	1	1	1	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2	5	0.8	2.0
売れ筋商品を取扱う	0	0	0	0	6	9	0	0	0	0	0	0	6	9	2.3	3.7
特になし	0	0	3	3	4	2	0	0	1	1	0	0	8	6	3.1	2.5
店舗・設備を改装する	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	3	1	1.2	0.4
工場・機械を増設・移転する	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0.4	0.4
不動産の有効活動を図る	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	2	1	5	3	1.9	1.2
輸入品の取扱を増やす	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
取引先を支援する	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	2	3	0.8	1.2
商店街事業を活性化させる	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	4	4	1.6	1.6
営業時間を延長する	4	2	0	0	4	8	0	0	0	0	0	0	8	10	3.1	4.1
提携先を見つける	1	0	1	1	2	2	0	1	0	0	2	3	6	7	2.3	2.9
不採算部門を整理・縮小する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
労働条件を改善する	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
教育訓練を強化する	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
合計	20	18	52	49	57	52	28	29	72	70	28	26	257	244	100.0	100.0

○ 経営上の問題克服のために、企業経営者が講じている重点経営施策としては

第1位～ 「経費を節減する」 57件
第2位～ 「人材を確保する」 37件
第3位～ 「販路を広げる」 31件

前期

第1位～ 「経費を節減する」 54件
第2位～ 「人材を確保する」 42件
第3位～ 「販路を広げる」 27件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第1位		第2位		第3位	
卸売業	経費を節減する	5	販路を広げる	4	人材を確保する、新商品・技術の開発・新しい工法の導入、営業時間を延長する	2
建設業	人材を確保する	15	経費を節減する、情報力を強化する、技術力を強化(高める)	7	販路を広げる	6
小売業	経費を節減する	12	売れ筋商品を取扱う	9	営業時間を延長する	8
サービス業	経費を節減する	6	人材を確保する	5	販路を広げる 新しい事業を始める	4
製造業	経費を節減する	20	販路を広げる	14	人材を確保する	10
不動産業	経費を節減する 情報力を強化する	7	販路を広げる 提携先を見つける	3	人材を確保する	2

特別調査

2026年（令和8年）の経営見通し

問 1 貴社では、2026年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

	1. 非常に良い	2. 良い	3. やや良い	4. 普通	5. やや悪い	6. 悪い	7. 非常に悪い		
合計（構成比）	0.0%	2.9%	10.6%	50.0%	25.0%	11.5%	0.0%		
総合	0	3	11	52	26	12	0		
卸売	0	0	2	5	1	0	0		
建設	0	1	1	15	3	1	0		
小売	0	2	2	5	11	5	0		
サービス	0	0	1	7	2	1	0		
製造	0	0	2	12	8	5	0		
不動産	0	0	3	8	1	0	0		

上記質問において、4.「普通」が52先と一番多く、次いで5.「やや悪い」が26先の回答となりました。結果、項目1.2.3.の良いが14先、5.6.7.の悪いが38先と、悪いとする見通しが上回った。

問 2 貴社では、2026年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

	1. 非常に良い	2. 良い	3. やや良い	4. 普通	5. やや悪い	6. 悪い	7. 非常に悪い		
合計（構成比）	0.0%	1.9%	12.5%	49.0%	25.0%	9.6%	1.9%		
総合	0	2	13	51	26	10	2		
卸売	0	0	3	5	0	0	0		
建設	0	1	3	11	5	1	0		
小売	0	1	1	7	10	4	2		
サービス	0	0	2	7	1	1	0		
製造	0	0	2	12	10	3	0		
不動産	0	0	2	9	0	1	0		

上記質問において、4.「普通」が51先と一番多く、次いで5.「やや悪い」が26先の回答となりました。結果、項目1.2.3.の良いが15先、5.6.7.の悪いが38先と、悪いとする見通しが上回った。

問 3 2026年において貴社の売上額の伸び率は、2025年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

	1. 30%以上の増加	2. 20~29%の増加	3. 10~19%の増加	4. 10%未満の増加	5. 変わらない	6. 10%未満の減少	7. 10~19%の減少	8. 20~29%の減少	9. 30%以上の減少
合計（構成比）	0.0%	1.0%	7.7%	18.3%	40.4%	21.2%	6.7%	1.9%	2.9%
総合	0	1	8	19	42	22	7	2	3
卸売	0	0	1	3	2	2	0	0	0
建設	0	1	2	2	10	5	1	0	0
小売	0	0	1	1	10	8	3	2	0
サービス	0	0	1	4	4	0	0	0	2
製造	0	0	3	5	9	7	3	0	0
不動産	0	0	0	4	7	0	0	0	1

上記質問において、5.「変わらない」が42先と一番多く、次いで6.「10%未満の減少」が22先の回答となりました。結果、項目1.2.3.4.の増加が28先、6.7.8.9.の減少が34先と、減少とする見通しが上回った。

問 4 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

	1. すでに上向いている	2. 6か月以内	3. 1年後	4. 2年後	5. 3年後	6. 3年超	7. 業況改善の見通しは立たない			
合計（構成比）	11.5%	12.5%	16.3%	10.6%	6.7%	3.8%	38.5%			
総合	12	13	17	11	7	4	40			
卸売	0	0	3	1	1	1	2			
建設	1	3	4	2	0	1	10			
小売	2	1	3	2	3	1	13			
サービス	3	2	1	1	1	1	2			
製造	3	4	6	3	1	0	10			
不動産	3	3	0	2	1	0	3			

上記質問において、7.「業況改善の見通しは立たない」40先と一番多くの回答となり、次いで3.「1年後」17先、2.「6か月以内」13先、1.「すでに上向いている」12先の回答となりました。

問 5
特別設問

紙の手形・小切手の利用状況についてお伺いします。政府は、2027年3月末までに約束手形の利用廃止、小切手の全面的な電子化の方針を示しています。貴社では、現時点で、企業間の資金決済の手段として、紙の手形・小切手を使っていますか。使っている場合はその理由を1～6から、もともと使っていたがやめた場合は現在の主な資金決済手段を7～9から、そもそも手形・小切手自体を使っていない場合は0から、最もあてはまるものを1つだけ選んでお答えください。

	紙の手形・小切手を使っている						紙の手形・小切手をやめた			使っていない
	1. 取引先との慣行で使わざるを得ない	2. 経理事務の変更が困難	3. コスト面で現状のままが最適	4. でんさい、IB等のセキュリティ面に懸念	5. でんさい、IB等の操作面に懸念	6. その他（ ）	7. でんさい	8. IB	9. その他（ ）	
合計（構成比）	19.2%	5.8%	6.7%	1.0%	4.8%	3.8%	9.6%	10.6%	0.0%	38.5%
総合	20	6	7	1	5	4	10	11	0	40
卸売	3	1	0	0	0	0	2	1	0	1
建設	5	1	3	0	2	0	5	2	0	3
小売	2	3	1	1	1	0	2	3	0	12
サービス	0	0	0	0	0	3	0	3	0	5
製造	9	1	2	0	2	1	1	2	0	9
不動産	1	0	1	0	0	0	0	0	0	10

上記質問において、0.「使っていない」40先と一番多く、次いで1.「取引先との慣行で使わざるを得ない」20先、次いで8.「IB」11先が、上位回答となりました。